



## 2026年9月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月14日

上場会社名 株式会社 ティア 上場取引所 東名  
 コード番号 2485 URL <https://www.tear.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富安 徳久  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画本部長 (氏名) 辻 耕平 TEL 052-918-8254  
 半期報告書提出予定日 2026年5月15日 配当支払開始予定日 2026年6月1日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年9月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年10月1日～2026年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	11,422	△1.4	1,004	△35.9	909	△42.3	517	△49.1
2025年9月期中間期	11,589	26.8	1,568	64.1	1,575	98.7	1,017	95.8

(注)包括利益 2026年9月期中間期 664百万円 (△34.6%) 2025年9月期中間期 1,017百万円 (95.8%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	23.00	—
2025年9月期中間期	45.21	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	28,051	9,043	32.2
2025年9月期	27,868	8,603	30.9

(参考)自己資本 2026年9月期中間期 9,043百万円 2025年9月期 8,603百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2026年9月期	—	10.00	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	—	—	13.00	23.00

(注)1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

(注)2. 2026年9月期(予想)期末配当の内訳 普通配当10円00銭、創業30周年記念配当3円00銭

### 3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	23,700	9.9	2,035	23.8	1,825	15.8	1,050	46.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1 社 (社名) 共創株式会社、除外 1 社 (社名) 株式会社メモリアホール西野山の手

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(3)中間連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年9月期中間期	22,510,100 株	2025年9月期	22,510,100 株
② 期末自己株式数	2026年9月期中間期	7,758 株	2025年9月期	7,758 株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年9月期中間期	22,502,342 株	2025年9月期中間期	22,504,703 株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、本資料予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業の賃金・価格設定行動の積極化や、堅調に推移する個人消費等により、緩やかに回復しております。また、先行きに対しましては、政府の経済対策や緩やかな金融環境に支えられ、今後も緩やかに回復するものとみられておりますが、中東情勢の緊迫化による国際金融市場の動向や資源価格の上昇等、先行きに対する不透明感は拭えない状況であります。

葬儀業界におきましては、葬儀に関する潜在的需要は人口動態を背景に年々増加するものと推計されておりますが、核家族化や葬祭規模の縮小等により、葬儀単価の減少傾向が続いております。また、直近の葬儀業界といたしましては、前年同期と比較して葬儀件数・売上高共に減少しております。

かかる環境下、当社グループは顧客満足度の向上を図るべく「明瞭な価格体系による葬儀費用の明確化」「徹底した人財教育によるサービスの向上」「ドミナント出店による利便性の向上」を戦略の基本方針とし、直営・フランチャイズ出店による徹底した差別化戦略を展開しております。また、M&Aによるグループ化を重要な戦略と位置づけており、2025年7月1日付で北海道札幌市を中心に葬儀会館を3店舗運営する「株式会社メモリアジャパン」及び関係会社（現在、ティア北海道に社名変更）を子会社化しております。

当中間連結会計期間におきましては、「新生ティアグループ」のスローガンのもと、中期経営計画を策定し4項目のテーマを設け8つの戦略を推進しております。新規出店の状況につきましては、直営は愛知県下、三重県下にそれぞれ1店舗、東海典礼が愛知県下に1店舗、フランチャイズでは東京都内に1店舗を開設する一方、直営の「ティア笠寺」をリロケーションにより閉鎖いたしました。これにより当社グループによる会館数は合計222店舗（直営97店舗、フランチャイズ75店舗、八光殿21店舗、東海典礼26店舗、ティア北海道3店舗）となりました。

売上高におきましては、ティア北海道の通年寄与による増収効果及び不動産事業の売上高が順調に拡大したものの、葬祭事業が前年同期の葬儀件数増加による反動減もあり低調な推移となりました。

売上原価におきましては、葬祭事業の商品原価率は低下したものの、固定費の負担割合が上昇し、経費面では営業促進実施に伴う広告宣伝費、賃金制度改定による人件費、ティア北海道の通年寄与に伴う経費等が増加いたしました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は114億22百万円（前年同期比1.4%減）となり、売上原価率は前年同期と比べ1.6ポイント上昇し、販売費及び一般管理費は前年同期比10.1%増となりました。これにより、営業利益は10億4百万円（同35.9%減）、経常利益では9億9百万円（同42.3%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は5億17百万円（同49.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (a) 葬祭事業

当中間連結会計期間におきましては、直営では「ティアの会」会員数の拡大を図るべく、各種会館イベントや提携団体・企業向けの営業等に取り組んでまいりました。葬儀件数におきましては、新たに開設した会館の稼働の効果はあったものの、既存店が前年同期を下回り、また「ティア笠寺」のリロケーションにより、前年同期比5.4%減の8,122件となりました。葬儀単価におきましては、供花売上の単価は上昇したものの、祭壇売上・葬儀付帯品の単価がそれぞれ低下し、前年同期比1.1%減となりました。

また、グループ各社の葬儀件数の状況としましては、八光殿及び関連ブランドは1,186件（同2.7%減）、東海典礼及び関連ブランドは904件（同2.5%増）、ティア北海道は96件となりました。この結果、葬祭事業の葬儀件数は前年同期比3.6%減の10,308件、葬儀単価は1.0%減となり、売上高は102億77百万円（同4.3%減）、営業利益は18億34百万円（同23.1%減）となりました。

#### (b) フランチャイズ事業

当中間連結会計期間におきましては、FC会館の既存店の売上高が前年同期比で減収となったことにより、ロイヤリティ売上、物品販売等が減少し、これにより売上高は2億54百万円（同11.3%減）、営業利益は37百万円（同15.6%減）となりました。

(c) その他事業

その他事業は、不動産事業、リユース事業等で構成されております。

不動産事業につきましては、買取・販売の件数が増加したのに加え、高単価の物件の取り扱いがあったため、不動産事業の単価が上昇いたしました。リユース事業におきましては、リピーター向け営業促進の実施により買取件数が増加し、これにより、その他事業の売上高は8億91百万円(同56.6%増)、営業利益は1億12百万円(同224.1%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は62億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億48百万円増加いたしました。これは主に売掛金及び契約資産が1億57百万円増加したことによるものであります。固定資産は217億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ65百万円減少いたしました。これは主に建物及び構築物が2億17百万円増加したものの、のれんが2億9百万円、顧客関連資産が39百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、280億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億83百万円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は62億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億83百万円増加いたしました。これは主にその他流動負債が1億9百万円、未払法人税等が97百万円増加したことによるものであります。固定負債は127億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億39百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が3億61百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、190億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億56百万円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は90億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億39百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益5億17百万円及び剰余金の配当2億25百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月13日に公表(期初予想)いたしました、「連結業績予想」「配当予想」に変更はございません。なお、「個別業績予想」につきましては、不動産及び相続サポート事業を担う「株式会社ティアネクスト(当社の100%子会社)」設立及び同事業の承継に伴う売上高・営業利益への影響は限定的であることから期初予想を据え置いております。

【連結業績予想の前提】

売上高予想としましては、ティアグループの既存店が堅調に推移する見通しなのに加え、新店稼働に伴う増収効果を見込んでおります。また、不動産関連・アフターサポート・霊園事業等のサービスを担うトータル・ライフ・デザイン領域の拡大、ティア北海道の通年寄与による増収効果等を見込んでおります。

売上原価率は、商品内容の見直しや価格改定により商品原価率の低減を見込み、販管費では「営業促進実施に伴う広告宣伝費」「賃金制度改定による人件費」「SNSマーケティングの構築にかかる費用」に加え、ティア北海道の立ち上げに伴う経費等の増加を見込んでおります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,541	4,516
売掛金及び契約資産	984	1,141
商品	112	251
貯蔵品	78	92
その他	346	308
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	6,047	6,295
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,141	10,358
土地	2,085	2,085
その他(純額)	854	671
有形固定資産合計	13,081	13,115
無形固定資産		
のれん	5,462	5,253
顧客関連資産	1,046	1,007
その他	297	333
無形固定資産合計	6,806	6,593
投資その他の資産		
差入保証金	1,133	1,137
その他	804	912
貸倒引当金	△4	△3
投資その他の資産合計	1,933	2,047
固定資産合計	21,821	21,756
資産合計	27,868	28,051
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	453	439
短期借入金	292	289
1年内償還予定の社債	71	71
1年内返済予定の長期借入金	954	969
契約負債	2,166	2,165
未払法人税等	361	459
賞与引当金	383	399
資産除去債務	36	—
その他	1,386	1,496
流動負債合計	6,106	6,289
固定負債		
社債	405	370
長期借入金	10,301	9,939
退職給付に係る負債	64	66
役員退職慰労引当金	2	2
資産除去債務	1,839	1,855
その他	545	484
固定負債合計	13,158	12,718
負債合計	19,265	19,008
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,895	1,895
資本剰余金	1,528	1,528
利益剰余金	5,205	5,498
自己株式	△2	△2
株主資本合計	8,627	8,919

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	△24	122
その他の包括利益累計額合計	△24	123
純資産合計	8,603	9,043
負債純資産合計	27,868	28,051

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	11,589	11,422
売上原価	6,892	6,972
売上総利益	4,696	4,450
販売費及び一般管理費	3,128	3,445
営業利益	1,568	1,004
営業外収益		
受取利息	2	3
受取家賃	17	16
受取保険金	61	0
その他	15	18
営業外収益合計	97	38
営業外費用		
支払利息	74	121
その他	16	11
営業外費用合計	90	133
経常利益	1,575	909
税金等調整前中間純利益	1,575	909
法人税、住民税及び事業税	620	409
法人税等調整額	△62	△17
法人税等合計	557	392
中間純利益	1,017	517
親会社株主に帰属する中間純利益	1,017	517

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
中間純利益	1,017	517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
繰延ヘッジ損益	—	147
その他の包括利益合計	△0	147
中間包括利益	1,017	664
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,017	664
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

当中間連結会計年度において、共創株式会社は、2026年2月1日付で当社の連結子会社である株式会社ティアサービスが株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を2026年3月31日としているため、当中間連結会計年度は貸借対照表のみ連結としております。

また、2025年10月1日付で株式会社メモリアホール西野山の手は、当社の連結子会社である株式会社メモリアジャパンを存続会社とする吸収合併を行った結果、連結の範囲から除外しております。なお、同日付で株式会社メモリアジャパンは、株式会社ティア北海道へ社名を変更しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計				
売上高							
葬儀施行関連	10,677	—	10,677	—	10,677	—	10,677
その他	55	287	343	568	912	—	912
顧客との契約から生 じる収益	10,733	287	11,020	568	11,589	—	11,589
外部顧客への売上高	10,733	287	11,020	568	11,589	—	11,589
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	—	2	15	18	△18	—
計	10,736	287	11,023	584	11,608	△18	11,589
セグメント利益	2,386	44	2,431	34	2,466	△897	1,568

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、リース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△897百万円には、セグメント間取引消去△18百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△879百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計				
売上高							
葬儀施行関連	10,227	—	10,227	—	10,227	—	10,227
その他	49	254	304	891	1,195	—	1,195
顧客との契約から生 じる収益	10,277	254	10,531	891	11,422	—	11,422
外部顧客への売上高	10,277	254	10,531	891	11,422	—	11,422
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	3	32	35	△35	—
計	10,280	254	10,535	923	11,458	△35	11,422
セグメント利益	1,834	37	1,872	112	1,985	△980	1,004

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、リース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△980百万円には、セグメント間取引消去△35百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△944百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。